

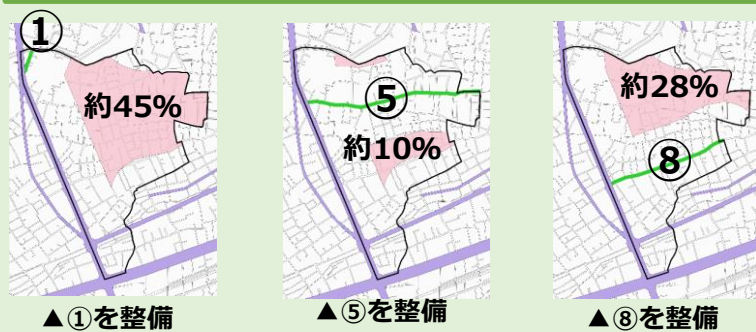


## 問2 幅員6m以上の道路整備路線の考え方

地震等による火災発生時に安全に避難できるまちの実現を目指すため、緊急車両の通行や安全・円滑な避難が可能となる幅員6m以上の道路整備と、沿道建物の建て替えに併せた不燃化・耐震化を進めます。

また、方南一丁目地区においては、環七通りに連続する道路(①、⑤、⑧)を幅員6m以上に整備した場合、消防活動困難区域の解消に寄与することとなります。

### 各道路(①~⑧)の整備による効果

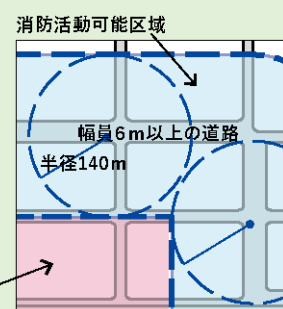


- ①を整備した場合、消防活動困難区域に大きな変化はありません。
- ⑤を整備した場合、消防活動困難区域が約10%まで減少し、拡幅による効果が最も高い路線となります。
- ⑧を整備した場合、消防活動困難区域が約28%まで減少します。
- ②、③、④、⑥、⑦について、各路線を単独で整備しただけでは消防活動困難区域の解消には寄与しませんが、通行の安全性などが高まります。

### ※消防活動困難区域とは

震災時に消防活動を円滑に行うためには、沿道の支障物や消防車両の機材操作などを考慮して幅員6m以上の道路が必要とされています。

災害時に消防自動車が通行できる、連続する幅員6m以上の道路から概ね半径140mの範囲は、消防ホースが届くと言われており、消防活動困難区域はその外側の区域を言います。



### アンケートの回答方法

- 郵便ポストへ投函(切手不要)
- オープンハウスへ持参
- Webで回答



Web回答用  
二次元コード

3月29日締切

④



郵便はがき



料金受取人払郵便

杉並局承認

9627

差出有効期間  
令和6年3月31日  
まで  
(切手不要)

1 6 6 8 7 0 1

杉並区役所 都市整備部  
市街地整備課 不燃化推進係  
行

杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

裏面の設問以外にご意見がありましたら  
ご自由にお書きください。

方南一丁目地区

# 防災まちづくり通信



第16号

発行日: 令和6年2月 発行: 杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係  
電話: 03-3312-2111 (内線) 3365・3366

## 防災まちづくり計画(案)の オープンハウス(パネル展)を開催します

日頃より、杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

区では、昨年11月に開催した防災まちづくり計画(たたき台)のオープンハウス※や、防災まちづくり通信第14号のアンケートで頂いたご意見等を踏まえ、防災まちづくり計画(案)を作成しました。

つきましては、防災まちづくり計画(案)の概要を展示し説明するオープンハウスを開催します。入退場は自由でどなたでもご来場いただけますので、ご都合のよい日時にお気軽にお立ち寄りください。

※ オープンハウスとは、計画の内容等をパネルで展示し、来場した方に区の職員が個別に説明をしながら、住民の皆様のご意見を伺う形式の説明会です。



▲令和5年11月に開催したオープンハウスの様子

### 区のホームページでご覧いただけます

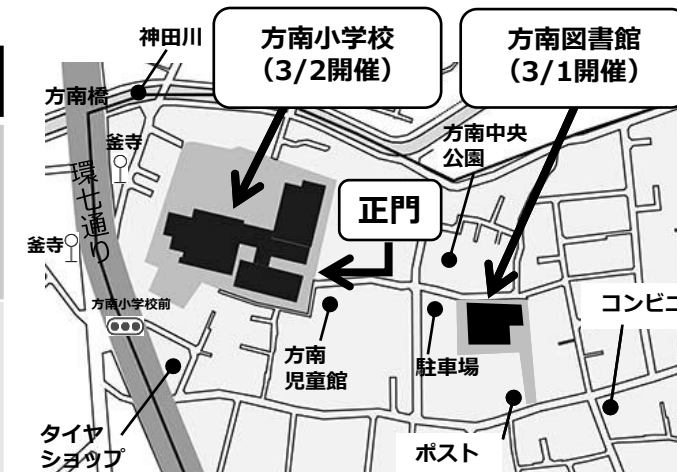
防災まちづくり計画(案)やオープンハウスのパネルについては、区のホームページでもご覧いただけます。



2月29日掲載予定です



日時	会場
3月1日(金) 15時~19時	方南図書館 多目的室
3月2日(土) 10時~16時	方南小学校 1階 多目的スペース ※正門からご来場ください



### 来場者プレゼント

オープンハウスに来場いただいた方に、防災にも役立つグッズをさしあげます。(数に限りがあります。また内容は変更になることがあります。)



①



# 防災まちづくり計画（たたき台）から（案）への主な変更点

昨年11月に開催した防災まちづくり計画（たたき台）のオープンハウスや、防災まちづくり通信第14号のアンケートで頂いたご意見等を踏まえ、防災まちづくり計画（案）を作成しました。

## ①ご意見を踏まえた内容の追加

- ・水害対策の推進
- ・喫煙マナーの周知
- ・災害時要配慮者への支援の周知

## ②関連計画を踏まえた内容の整合と反映

- ・道路の交通安全対策強化に向けた検討

## ③まちづくりの実現に向けた取組の追加

- ・地域との防災まちづくりに関する情報共有や連携
- ・防災まちづくりに関する情報の発信



詳細は区のホームページをご覧ください

# これまでの取組と今後のスケジュール

これまでのオープンハウスやアンケート等では、「狭い道路が多く、災害時の避難が心配」や「公園・広場が少ない」などといったご意見を伺ってきました。これらの課題解決に向けて、防災まちづくり計画（案）では、公園・広場、ポケットパークの整備や、消防活動困難区域の解消に寄与する幅員6m以上の道路整備路線について盛り込んでいます。また、今回のアンケートではこれらの取組について皆様の考えをお伺いできればと考えています。

※説明は3ページ、4ページをご覧ください

令和4年3月 アンケート  
(まちづくり通信第11号)

防災まちづくり構想(案)について意見募集を行い、道が狭いことや、公園・広場が少ないこと等についてのご意見がありました。

令和4年11月 アンケート  
(まちづくり通信第13号)

幅員6m以上の道路整備検討路線の選定について、適当との回答が80%でした。建物の建て方のルール必要性については、必要との回答が78%でした。

令和4年12月 オープンハウス

「これまでの経緯やまちの状況」について説明しました。

令和5年10月 アンケート  
(まちづくり通信第15号)

狭い道路や行き止まり道路の多さに不安を感じる、幅員6m以上の道路整備路線の拡幅の進め方、公園や広場の整備を進めてほしいなどのご意見がありました。

令和5年11月 オープンハウス

「まちづくり計画（たたき台）」について説明しました。

令和6年2月 アンケート  
(まちづくり通信第16号)

令和6年3月 「まちづくり計画（案）」に関するオープンハウス

令和6年7月 まちづくり計画策定（予定）



これまでのアンケートの結果はまちづくり通信のバックナンバーをご覧ください



まちづくり通信 二次元コード

# アンケートにご協力ください



## 問1 ポケットパークについて

公園等は、地震等災害時に一時的に避難する場所になるほか、日常の憩いの場としての役割があります。方南一丁目地区では、まとまった規模の場所が少ないこともあり、公園用地の確保が難しい現状にあります。そこで、公園とするには規模が小さい場所については、地域の防災機能の拡充やちょっとした休憩スペースになる「**ポケットパーク**」として整備することを検討します。

区では、今後の地区内の取組の参考とするため、100カ所以上ポケットパークを整備した実績がある足立区へ視察に行きました。

視察をした千住仲町地区内では15年間で4カ所のポケットパークが整備されており、散歩中のひと休みや待ち合わせ場所、子供たちの遊び場などとして利用され、地域の方の意見を踏まえた特色のあるものとなっています。また、交差点に整備したポケットパークでは、緊急車両が通りやすく、見通しが確保されたものとなりました。

### 【参考】足立区のポケットパーク検討部会の取組

足立区では地域住民によるポケットパークの検討部会が存在します。ポケットパーク完成前は整備のあり方や活用方法、完成後は管理運営方法やポケットパークを活用したイベント等の企画を行っています。

#### 整備内容の検討

それぞれの立地条件や歴史等を踏まえながら、懸念事項や使い方のアイデアを出し合い、整備内容を話し合います。

#### 維持管理

ポケットパークごとに地元の方々が花の植え替えや清掃等を行っています。

#### ポケットパークを活用したイベントの実施

防災活動に関心を持つ人を増やすこと、ポケットパークをコミュニティづくりの場とすることを目的としたイベントを行っています。



▲検討部会



▲手入れされた花壇



▲春の花市と園芸相談

出典：足立区ホームページより抜粋



▲消火器、防災倉庫、いすが配置されています(写真の丸印) また、隣り合う住宅との境界部分にはみどりを取り入れて、近づきすぎない工夫をしています(面積約50㎡)



◀ポケットパーク内に電柱を配置し、道路へ突出させない工夫をしています

### アンケート回答ハガキ

(あてはまるもの1つに丸印をつけてください)

問1	ポケットパークについて
回答欄	①必要 ②あってもよい ③必要ない (理由や自由意見など)
問2	幅員6m以上の道路整備路線の考え方
回答欄	①適当 ②不適當 ③その他 (理由や自由意見など)
問3	年齢を教えてください。
回答欄	① 10代以下 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上